

事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:2021年 3月 31日

公表:2021年 5月 日

事業所名 子ども支援センターすだち

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		写真や絵カード、タイムタイマーなどを使用した視覚支援を取り入れている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日の事前ミーティング、反省会等をおこない共通認識・改善などを話し合うように努めている。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在のところ実施予定は無い。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		コロナの影響のため、主にオンライン研修を実施。	来年度以降、コロナ次第ではあるが、外部研修にも参加していく予定。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		リハビリスタッフの意見、評価も取り入れている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		職員会議や事前ミーティングなどで話し合いを行い内容や支援方法、目的の明確化を共通理解出来るようにしている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		職員会議や事前ミーティングなどで話し合いを行いマンネリにならないようにしている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		常勤職員が臨時職員にも伝達する様になっている。申し送りの連絡ノートも活用して共有を行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日反省会を行い、共有する様になっている。休みの職員には申し送りの連絡ノートも活用して共有を行っている。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○				

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○				
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○				
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○			今のところは対象者がいない。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○			今のところは対象者がいない。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			園訪問や見学、電話で対応している。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○				
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○			機会があれば研修等に参加していく。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○			並行通園のため、今の所機会は設けていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○			コロナの影響で今年度は未開催。開催されれば積極的に参加していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			お迎えの際のフィードバック時に必要に応じて行っている。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○			日々のフィードバックや半年に一度の面談の中で関わり方や困り感等の話をしている。		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			契約時に行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○				
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			日々のフィードバックや半年に一度の面談の中で関わり方や困り感等の話をしている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○			父母の会や保護者会がないため、今後も開催予定はない。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○				
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			季節ごとのおたよりを発行している。メール配信サービスに登録していただき、情報等発信を行っている。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			契約時に個人情報同意書の説明を行っている。ホームページでの写真使用について気を付けている。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○			コロナの影響により、法人での行事の開催が中止となった。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月様々な形ではあるが実施している。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		利用前に配布する家庭調査票にて記入欄があり、必要に応じ保護者にも確認している。	法人内の看護師にも確認を行う様にしていく。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		家庭調査票に記入欄があり、必要に応じ保護者に確認している。	法人内の看護師や管理栄養士とも連携し、対応できるようにしていく。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している		○		

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの児童発達支援評価の集計結果

公表：2021年 月 日

アンケート期間：2021年1月30日～2021年3月1日

事業所名：こども支援センター すだち

保護者等数(児童数) 40人 回収数 33人 割合83%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	無回答	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	28	4	1	0	0	・あまり身体をつかう場所がないような気がする。 ・人数の多い日は、少し狭いのでは？と感じる。仕方ないが定員より受け入れが多い。 ・子どもの人数に対してスペースが少し狭いのでは。	スペースが限られているので常時周りを気にせず走り回ったりダイナミックな粗大運動は難しいかも知れませんが、月に何度か体育館を利用しての運動や施設周辺の散歩などを行っています。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	31	2	0	0	0	・どなたがどんな専門なのかがよくわかっていませんが、人数は安心しています。	1階通路に顔写真と保有資格を掲示しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ i になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	3	0	1	1	・引き戸やフルフラットの床はとて良い。鍵もあり、いたずら防止にもなっている。 ・ロッカー、靴箱の位置が変わるので、マークや色等で分かりやすくしてほしい。	ロッカーにマークなどの目印が必要な子供については対応をしていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33	0	0	0	0	・荷物棚に登っている子がいるので少し危ないと思う時がある。	高い所が好きで登ってしまうお子さんもいます。その都度、伝えながら降りてもらおう様になっています。
適切な支援の提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ ii が作成されているか	32	1	0	0	0	・面談などしたうえで作成されるため良いと思います。	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	2	0	3	1	・児童発達支援ガイドラインを知らない。	玄関に掲示する様にします。ご覧ください。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	0	0	1	0	・言葉の遅れに関して、どのようなことをやってくださっているのかが分からない。	日々のフィードバックや半年に1回の面談で関わり等のお話をさせてもらっています。
	8	活動プログラム※ iii が固定化しないよう工夫されているか	30	1	0	1	1	・座ってする課題、身体を動かす活動それぞれできている。	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	3	6	8	2	・現状では交流は難しいと思うので、今後の状況による。	現在の所、地域での児童交流は行っていません。今後、社会情勢を踏まえながら地域との交流を検討しています。
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	0	0	0	1		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	31	0	0	2	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ iv 等)が行われているか	16	5	3	9	0	・支援の方法などの講演があったら参加したい。 ・都度悩んでいることを職員の方に答えていただいている。	保護者の方が参加できる講演会などがありましたらお知らせします。

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	32	1	0	0	0	・連絡帳や面談などでできていると思う。	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	32	0	0	1	0		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	6	12	7	1	・保護者会などが無いと思う。保護者同士の会話は無い。 ・親同士の情報交換ができる場が欲しい。	現在の所、父母の会活動や保護者会活動は予定していません。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	29	1	0	3	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	2	0	0	1		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	27	1	0	3	2		
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32	0	0	0	1		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	15	4	1	12	1	・訓練の実施がされているかがわからない。 ・避難訓練や緊急時の引き渡しについて、実践したことはないような気がする。再度、確認しておきたい。	利用者の方を交えた避難訓練は二、三ヶ月に1回程度しています。今後は実施した事が分かるように周知していきます。緊急時の引き渡し訓練は実施した事が無いため実施も含め検討していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	3	2	15	2		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	26	4	0	2	1	・進歩も見られ、本人も楽しく通っています。 ・事前に楽しみにしているかはわからないが、行くとても楽しく過ごせている。	
	23	事業所の支援に満足しているか	31	1	0	0	1		

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....

(保護者の皆様へ)

○この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

